



平成 26 年 9 月 30 日、認知症対応型川曲デイサービスセンターあじさいでんでんタウンの利用者様に対して、歩行練習の方法などリハビリの具体的な内容について実地指導を行ないました。

前回も一度指導を行なった利用者様で、今回は足関節の拘縮（活動量の低下などにより関節が硬く動かなくなってしまうこと）が進んできており痛みもあるので、このまま同じリハビリメニューで大丈夫か心配とのことの依頼で、実際に歩く練習の場面を見させていただきました。拘縮による足の引きずりや、体重をかけた時の痛みが出ており、歩きづらさがありました。装具の着用も試してみましたが、拘縮が強く適応ではなかったため、足を出す順番を左右反対にするよう指導したところ、足の引きずりや痛みの軽減を図ることができ、利用者様、機能訓練士の方に具体的な指導、アドバイスを行なうことができました。

専門職にリハビリの様子をみてもらうとのことで、利用者様もいつもより気合が入った様子で、いつもより積極的に歩く練習を行なっていただくことができ、訓練士の方も驚かされていました。最後には、最高の笑顔で挨拶をしてくださり、私たちが元気をいただきました。

利用者様と訓練士の方のニーズに合わせ、利用者様の生活に結びつく練習の方法を指導していくことに改めて難しさを感じました。その中でも、私たち理学療法士が介入することで、機能的にも精神的にも利用者様の生活を豊かにするような、何か良いきっかけを作ることが出来たらと思いました。



リハビリテーション部 理学療法士 宮澤佳之

■前橋地域リハビリテーション広域支援センターは、前橋地域のリハビリテーション関連施設の要望に応え専門職の派遣を行っています。職員向けの実地指導や一般向けの講習会等、専門分野の職員が必要な際にはご相談下さい。